

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公表番号】特表2008-543165(P2008-543165A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-513419(P2008-513419)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 W 88/18 (2009.01)

H 0 4 W 92/24 (2009.01)

H 0 4 W 80/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 5 0

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 M 3/00 D

H 0 4 Q 7/00 6 7 0

H 0 4 Q 7/00 6 9 5

H 0 4 Q 7/00 6 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月17日(2009.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気通信ネットワークを運用する方法であって、

セルの少なくとも 1 つの無線伝送資源群 (5 2₁) を、非ホッピング無線伝送資源群であるとして設定する工程と、

前記セルの他の無線伝送資源群 (5 2_{2-j}) を、ホッピング無線伝送資源集合であるとして設定する工程と、

前記非ホッピング無線伝送資源群上のボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローを含む呼を、前記非ホッピング無線伝送資源群の容量に応じてスケジューリングする工程とを備えており、

前記非ホッピング無線伝送資源群が、移動機との追加の呼のためには容量不足の場合、前記追加の呼をボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローから回線交換接続に切り替えることを要求する工程を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記非ホッピング無線伝送資源群が非ホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を含み、

前記非ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が前記非ホッピング送受信機が稼動する周波数上のタイムスロットを含み、

前記ホッピング無線伝送資源群がそれぞれのホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を含み、

前記ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が当該ホッピング送受信機

が稼動するそれぞれの周波数上のタイムスロットを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ホッピング無線伝送資源群が、前記ネットワークの他のセルの中で前記非ホッピング無線伝送資源群よりも高頻度で再使用される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローを含む前記呼が E D G E V o I P フローである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

電気通信ネットワークを運用する方法であって、

報知制御チャネル（B C C H）のための少なくとも 1 つの無線伝送資源を含んだ無線伝送資源を有する送信機を構成する工程と、

前記送信機の前記無線伝送資源上のボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローを含む呼を当該送信機の容量に応じてスケジュールする工程とを備え、

前記報知制御チャネル（B C C H）用の前記無線伝送資源を有する前記送信機が移動機との追加の呼のためには容量不足の場合、前記追加の呼をボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローから回線交換接続に切り替えることを要求する工程を特徴とする方法。

【請求項 6】

前記送信機の前記無線伝送資源が非ホッピング資源であり、

前記報知制御チャネル（B C C H）のために前記非ホッピング無線伝送資源の少なくとも 1 つのタイムスロットを利用する工程と、

ボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローを含む前記呼のために当該非ホッピング無線伝送資源の他のタイムスロットを使用する工程をさらに含む請求項 1 または 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記追加の呼を前記ボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローから前記回線交換接続に切り替えることを要求する工程が、前記移動機に、パケット交換から回線交換への引き継ぎを実行しそれによって前記呼を回線交換呼として他の無線伝送資源に再接続することを要求する工程を備える請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

電気通信ネットワークであって、

少なくとも 1 つの無線伝送資源群が非ホッピング無線伝送資源群であり、他の無線伝送資源群がホッピング無線伝送資源群であるセルの中の移動機との通信のために複数の無線伝送資源群（5 2）を提供する基地局ノード（2 8）を備え、

前記非ホッピング無線伝送資源群上のボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローを含む呼を前記非ホッピング無線伝送資源群の容量に応じてスケジュールし、前記非ホッピング無線伝送資源群が、移動機との追加の呼のためには容量不足の場合、前記追加の呼をボイス・オーバー・インターネット・プロトコルのパケット・フローから回線交換接続に切り替えることを要求するパケット制御装置をさらに備えることを特徴とする電気通信ネットワーク。

【請求項 9】

前記非ホッピング無線伝送資源群が非ホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を備え、

前記非ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が前記非ホッピング送受信機が稼動する周波数上のタイムスロットを含み、

前記ホッピング無線伝送資源群がそれぞれのホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を含み、

前記ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が当該ホッピング送受信機が稼動するそれぞれの周波数上のタイムスロットを含む請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

セル内の移動機との通信のために複数の無線伝送資源群を有する電気通信ネットワークの packets 制御装置であって、

前記セルの少なくとも 1 つの無線伝送資源群が非ホッピング無線伝送資源群であり、前記セルの他の無線伝送資源群がホッピング無線伝送資源群であり、

前記非ホッピング無線伝送資源群上のボイス・オーバー・インターネット・プロトコルの packets・フローを含む呼を、前記非ホッピング無線伝送資源群の容量に応じてスケジュールし、前記非ホッピング無線伝送資源群が移動機との追加の呼のためには容量不足の場合、前記追加の呼をボイス・オーバー・インターネット・プロトコルの packets・フローから回線交換接続に切り替えることを要求する packets 制御装置。

【請求項 11】

前記非ホッピング無線伝送資源群が非ホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を含み、

前記非ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が前記非ホッピング送受信機が稼動する周波数上のタイムスロットを含み、

前記ホッピング無線伝送資源群がそれぞれのホッピング送受信機により提供される無線伝送資源を含み、

前記ホッピング送受信機により提供される前記無線伝送資源が当該ホッピング送受信機が稼動するそれぞれの周波数上のタイムスロットを含む請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記追加の呼をボイス・オーバー・インターネット・プロトコルの packets・フローから回線交換接続に切り替えることを要求するために、前記移動機に、packets 交換から回線交換への引き継ぎを実行しそれによって前記追加の呼を回線交換呼として前記セルの前記ホッピング無線伝送資源群の 1 つに再接続することを要求する請求項 8 または 10 に記載の装置。

【請求項 13】

前記ホッピング無線伝送資源群が、前記ネットワークの他のセルの中で前記非ホッピング無線伝送資源群よりも高頻度で再利用される請求項 8 または 10 に記載の装置。

【請求項 14】

ボイス・オーバー・インターネット・プロトコルの packets・フローを含む前記呼が E D G E V o I P フローである請求項 8 または 10 に記載の装置。

【請求項 15】

前記 packets 制御装置が基地局制御装置 (26) ノードに少なくとも部分的に設置される請求項 8 または 10 に記載の装置。

【請求項 16】

前記 packets 制御装置が基地局ノード (28) に少なくとも部分的に設置される請求項 8 または 10 に記載の装置。

【請求項 17】

前記 packets 制御装置が G P R S サポート・ノードに少なくとも部分的に設置される請求項 8 または 10 に記載の装置。